

響

Hibiki

心と体に やさしくひびく東洋療法

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会
広報誌

Daishinshikai Journal 2022

Hibiki vol.13

新型コロナウイルス感染拡大による 鍼灸院・マッサージ院への影響



コロナ禍における 鍼灸院・マッサージ院

取材協力：Kirari 鍼灸・マッサージ院

千寿治療院（株式会社訪問リハビリ研究センター）



■ 足三里（あしさんり）を
刺激して免疫力アップ！

■ 鍼灸マッサージ師のための
生涯研修会のお知らせ

発行 公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会

大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 TEL 06-6624-3331 <https://osmk.osaka.jp>

コロナ禍における鍼灸マッサージ

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会
会長 廣野 敏明



2020年4月、最初の緊急事態宣言の折、鍼灸・マッサージ業は医療職種に含まれ、休業要請の対象になりませんでした。ところが、その後の衛生材料の入手については、医療介護職種等の優先対象から外され、何ら支援が受けられず、通常の施術業務にも影響を受けました。

行政や議員の先生方とお話しさせていただくと、最初に感じるのは鍼灸やマッサージの実際の姿がよく知られていない、若しくは少し違ったイメージを持たれていることです。

体の痛みや生活のし辛さは、本人にしか分からず、計ることも他人と比べることも出来ません。医科のように、命に直結する症例に関わることはあまり無いかもしれませんが、人々が日常で抱える様々な苦痛を和らげたり、QOLを改善させたりする点では、鍼灸師、マッサージ師も地道に貢献しておりますし、まだまだ大きな可能性を秘めています。

鍼灸やマッサージが有効な症状の方に、必要かつ適切な施術を提供できる体制づくりが、業団としての大きな課題の一つです。

今号の「響」特集では、コロナ禍の業界の現状について一部取材していただきました。少しでも皆様にご理解が広がりましたら幸いです。

新型コロナウイルス感染拡大による 鍼灸院・マツサージ院への影響

新型コロナウイルス・パンデミック

日本での新型コロナウイルス感染症は、2020年2月のダイヤモンド・プリンス号のニュースから始まり、全国各地に徐々に広がった印象がある。世界的な感染症の流行は、古くは天然痘やスペイン風邪が知られ、最近では香港・台湾での「SARS（サーズ）」、コロナ禍以前には、致死率の高い「鳥インフルエンザ」の流行が懸念された。身近では「豚インフルエンザ」が大阪でも流行し、東京では蚊が媒介する「デング熱」も心配された。しかし、国内で流行が報道された感染症の多くは短期間で自然に終息し、今回の感染拡大の際にも当初は「パンデミック」との言葉を使うことも躊躇されるなど、自分達の身近に迫った危機との認識は薄かった記憶がある。

コロナウイルスは夏かせの原因の一つとされているもので、コロナウイルスの変異型のSARS（サーズ）が感染拡大から8カ月程度で終息した個人的な知識から、今回も2020年内には終息するか、その傾向が伺われるかと思っていた。しかし、現実には、ウイルスは変異を繰り返し、周期的な新規感染者数の増減を繰り返した。今から思い返せば、これがパンデミックであり、感染症の怖さであった。

繰り返す感染者の増大により、社会活動に制限が敷かれる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点

2020年
4月7日～5月21日
2021年
1月14日～2月28日
4月25日～6月20日
8月2日～9月30日

表1 大阪での緊急事態宣言

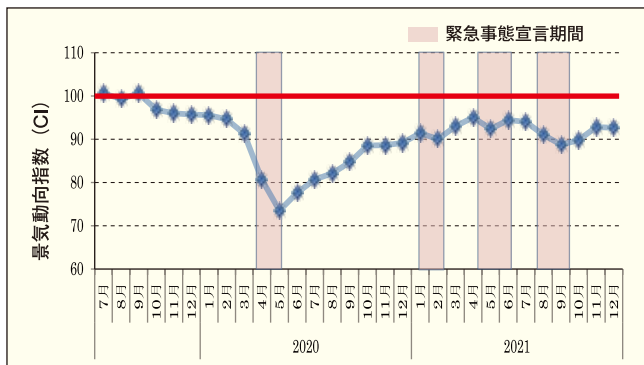


図1 景気動向指数 (CI・一致指数)

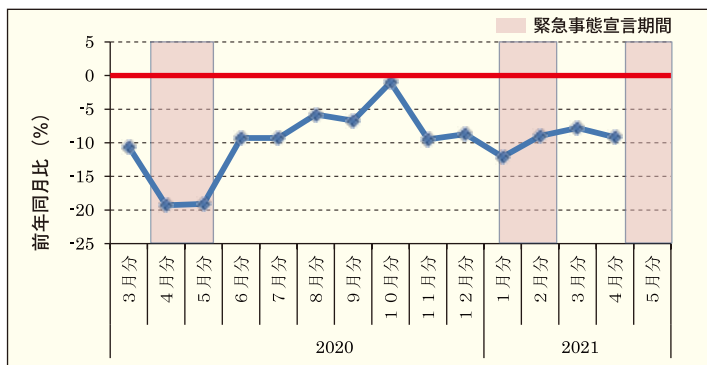


図2 医療請求件数 (前年同月比)

措置」が繰り返し発令された¹⁾ (表1)。これらの発令は経済の停滞を引き起こし、各種の経済指数も低下した²⁾ (図1)。一方でテレワークなど社会の働き方にも影響をもたらした。

医療への影響

(医療の保険請求件数³⁾より)

新規陽性者の増加とともに世間では、感染予防の意識から「不要不急の外出は、控える。」が叫ばれた。社会全体の活気が失われる

中、医療も例外ではなく、2020年4月5月では著しい落ち込みがみられ、10月には前年とほぼ同程度に回復するが、その後は再び減少した。この減少は感染が全国に波及し、第2波として新規陽性者が増加したことへの懸念による「受診抑制」と推測されている (図2)。さらに、現在までの推移は、推定値として算出されているのみであるが、2019年度比約10%の減少で推移し、元に戻ったとは言い難い状況が継続している。

鍼灸マッサージへの影響

(大阪府東洋療法協同組合・

保険請求件数データなどより)

鍼灸マッサージ業への影響については、いくつかの報告がある。施術所に対する調査として、愛知県鍼灸師会では会員にアンケートを行い報告している⁴⁾。

2020年3～6月の現状把握として、収益の減少率については治療院の特性により違いがみられ、疾病治療を主体としている治療院では減少率は2～3割程度、健康維持や美容、疲労回復などを主体としている治療院では5～6割に減少し、施設などへの往療を主体としたところでは、ほぼ10割減となったとしている。

小野らは、鍼灸師界への影響を把握する目的からWEB調査票を用いたアンケート調査を行い、2020年4月・5月の施術所の売り上げと収入は減少していた。また、40%弱がCOVID-19により経済的に困窮していたと報告している⁵⁾。

宮崎は、2015年第1四半期(1～3月平均)から2020年第2四半期(4～6月平均)までの1世帯当たりの家計調査から「鍼灸・あん摩マ

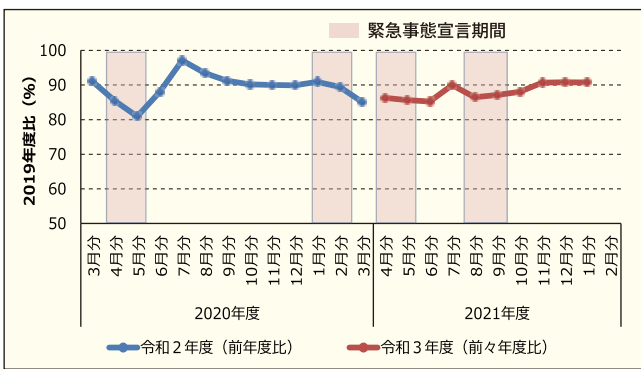


図3 健康保険請求件数の推移 (はり・きゅう)

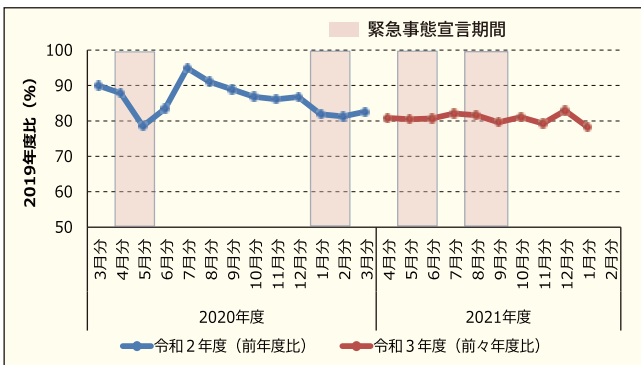


図4 健康保険請求件数の推移 (マッサージ)

ッサージ、柔道整復への支出金額」について検討し、2020年4～5月の売上高は前期比で13%減少した。また、「法的な資格制度の無い、その他の療術業(整体、カイロプラクティック、リフレクソロジー、骨盤矯正など)」は前期比約46%減少し、前年同期比約41%減と推測されたと報告している⁶⁾。

大阪での状況を大阪府東洋療法協同組合の健保取扱請求の集計から振り返ってみる⁷⁾。2020年4～5月は著しく落ち込み、その後の7～8月は前年に近づくが、夏以降は低下したまま推移した。2021年、繰

り返し宣言が出され低値で推移したが、11月に宣言が解除されると「はり・きゅう」は2019年度同月比の90%程度に若干の回復がみられた(図3)。一方、マッサージの請求件数では漸減傾向は変わっていないと思われる(図4)。この時期に行ったアンケート調査では患者数について65%が「減少している」と回答しており、半年前(6～7月)と比べても84%が「変わらない・さらに減少している」と訴えていた。2020年中期以降の全国的な調査の報告はみられなかったが、大阪府東洋療法協同組合での健保取扱

請求の件数や金額が2019年度と同水準に回復していない状況から推測すると、大きな改善はみられていないと思われる。

これらを整理すると感染拡大の当初、外出の自粛や医療と同様に受療抑制によると思われる減少がみられた。その後、前年はやや回復したが、繰り返される「宣言」の中、医療のように前年と同等レベルへの回復はみられていない状況が現在も継続している。

この様な状況は、非常に厳しいものであり受け入れたいが、宮崎は「いわゆる無資格施術」との比較から、鍼灸マッサージの需要の底堅さをうかがえる⁸⁾との分析をしている。

「コロナ禍での経営継続を目指して」

(大阪府鍼灸マッサージ師会・
会員アンケートなどから)

感染拡大による受療抑制の状況に対し、愛知県鍼灸師会では施術者・患者ともに万全の予防対策を取り、「予防対策を徹底し、患者に安心していただくこと」が重要として、院内での消毒、対策ポスターとして院内に掲示するなどの

工夫の取り組みを行ったと報告した⁴⁾。

同様の取り組みは全国でもみられ、小野らの調査では、100%弱が施術所の感染対策として手指衛生の徹底（手洗いや手指消毒等）や施術者のマスクの着用を実施していたと報告している。さらに、多くが不安を抱きながらも施術を続け、90%強が鍼灸施術関係以外の生活での外出を自粛していたとしており、巣籠り施術の様子が伺われた。

大阪府鍼灸マッサージ師会では、2020年12月～2021年2月に会員アンケートを行い、感染防止ガイドラインの実施状況などを確認した。その結果、①外来および訪問先の患者体調・体温の確認96%、②換気の頻繁な実施97%、③1人ずつのリネン類の交換92%、④マスクの着用96%、⑤手指消毒薬の常時携帯80.3%、⑥患者のマスク着用59.8%との結果であった（図5）。

さらに、業界団体として少しでも感染予防を徹底し、「安心して受療できる鍼灸マッサージ」として患者からの信頼を得られるよう呼びかけた。

施術時の安全指針は、全日本鍼

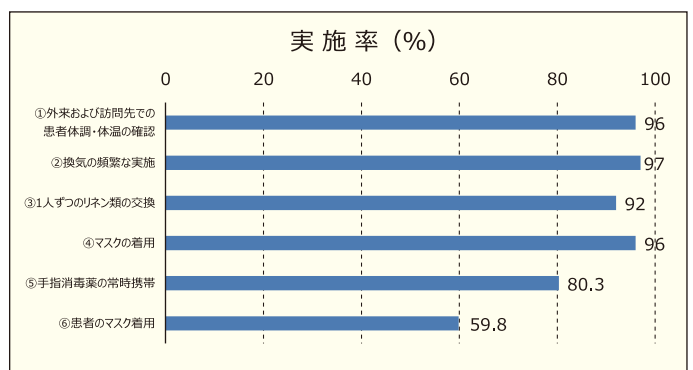


図5 大阪府鍼灸マッサージ師会会員の感染防止ガイドラインの実施状況

灸学会、日本鍼灸師会、全日本鍼灸マッサージ師会、またその合同委員会などで作成更新され、当初からHPにガイドラインとして公開されている^{9) 10) 11)}。

しかし、訪問施術においては現在も、まだまだ施術に伺うことすら難しい状況が続いているとの報告がある。

鍼灸・マッサージの施術にあり、病院や介護施設と同様の心構えを持ち、感染予防の実施を行っていることを是非とも理解いただきたいと考える。

**感染症への対応および
予防としての鍼灸マッサージ
（コロナ禍に対する臨床研究から）**

和辻は、2020年8月までの報告を集約し、鍼灸院での対応の現状として、「ツボ刺激によって心身の調整を行い、自然治癒力や免疫機能を高めて、感染予防の一助や症状の改善に努めることができる。」など鍼灸施術だけでなく養生法を指導することで、健康維持増進を図り、感染予防に努めるとの意見が多かったと報告している¹²⁾。

小野らは、70%弱が所属学会や業団からCOVID-19の感染症対策の情報提供を受け、60%弱がCOVID-19への予防的鍼灸治療を行っており、COVID-19の予防的鍼灸治療に効果のある経穴は足三里等があげられたとしている。しかし、日本の鍼灸界でもCOVID-19への予防的鍼灸治療が行われていたが、日本ではCOVID-19への個人的な予防の試みであり、現在の公的な標準的治療ではなかったと報告している⁵⁾。

全日本鍼灸学会では、2020年新型コロナウイルスに関する鍼灸論文

を検索し、11編の論文をHPで紹介している¹³⁾。抽出された症例報告や症例集積ではそれぞれに工夫された治療がなされているが、我が国でそのまま応用できるものではないかもしれないしながらも、国別では、中国6編、台湾1編、米国2編、ブラジル1編、イラン1編で、論文の種別では、システマティックレビュー3編、RCT2編、観察研究2編、症例報告3編、ニュースレター1編であったと報告している。

その中で、中国では「鍼灸介入の手引き」が作成され、医療機関の指導のもと、感染防御対策を施された感染症病院内で感染者に現代医学的治療と併用した鍼灸施術が行われ、症状が改善された報告も紹介されている。

国内での東洋医学的なアプローチによる研究としては、日本東洋医学会において漢方薬を用いた研究が5編紹介されており、いずれも現代医学的治療に漢方薬を併用したもので、少数例での報告であるが、漢方薬投与群では症状をより軽減できる可能性にあるとする研究を紹介している¹⁴⁾。

コロナ禍と社会の変化に向けて (これからの病院経営への提言から)

コロナ禍が社会にもたらしたものは、インターネットを活用した学術活動やコミュニケーション行動であろう。コロナ禍以前、「eラーニング」と呼ばれていたものは、非常に身近なものとなり、多くの学会や研修会がオンラインで開催されている。

学校・大学で学生への授業も「classroom」などを活用した動画配信が用いられることが多くなり、連絡ことも文書や口頭でなく、ネットを介して用件が伝えられている。個人間の交流もSNSなどによるつながりが増え、全国の友人と繋がり、何年も会っていない同級生とも簡単に意思疎通ができる環境がある。これらは今までの慣習にない「新しい社会のあり方」で、鍼灸マッサージ師にも対応が求められていると思われる。

コロナ禍での病院診療所経営について、小松は経営コンサルタンの立場からの提案として、2021年6月からの見通しとして、最低でもあと1年間、何らかの影響が続くと考えるべきで、日本全体で患

者の受診抑制が継続する可能性があり、平均として5〜10%程度の減収が予測されている。コロナ禍以後における診療所経営の考え方として、「減らなかつた患者さん」「すぐに戻ってきた患者さん」に注目し、『生き残る診療所経営』を実現する視点が重要で、コロナ禍を機に各医療機関が自らの役割を再定義し、必要とされる医療の提供に注力しつつ、経営を維持する方向性を見出すべきとしている¹⁵⁾。

鍼灸マッサージ業界においても、これらの実情に対し「真摯に向き合う臨床家」が求められているのではないだろうか。



古田 高征

- 履正社医療スポーツ専門学校教員
- (公社)大阪府鍼灸マッサージ師会理事

参考文献

- 1) 大阪府感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症 HP より: <http://www.iph.pref.osaka.jp/infection/disease/corona.html>
- 2) 内閣府経済社会総合研究所 景気統計部: 景気動向指数 (令和3 (2021) 年12月分 (速報))
- 3) 前田由美子: 新型コロナウイルス感染症の診療所経営への影響 (2021年2月~4月): 日医総研リサーチレポート No.108: 日本医師会総合政策研究機構
- 4) 愛知県鍼灸師会の取り組み 新型コロナウイルス (COVID-19) の鍼灸院への影響について: 医道の日本 79(7): 129-130, 2020.
- 5) 小野直哉、前田尚子、形井秀一、他: 日本の鍼灸界の状況 COVID-19による日本鍼灸界への影響に係る実態調査 日本の鍼灸師に対する「COVID-19に関するアンケート調査」の報告: 社会鍼灸学研究 特集号 1-18 2021
- 6) 宮崎彰吾: 家計調査からみた、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう、柔道整復業 への新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の短期的影響 (速報): 全日本鍼灸学会雑誌 71 巻1号 40-44: 2021
- 7) 大阪府東洋療法協同組合 健保取扱請求年度別比率 (はり・きゅう、マッサージ) より改変
- 8) 新型コロナウイルス感染症に対する経営への影響について: 大阪府鍼灸マッサージ師会・大阪府東洋療法協同組合
- 9) 公益社団法人 全日本鍼灸学会 「鍼灸施術における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための注意点」 <https://safety.jsam.jp/covid-19.html>
- 10) 公益社団法人 日本鍼灸師会 「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン改訂版」: <https://www.harikyuu.or.jp/5603/>
- 11) 公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会 「新型コロナウイルス感染防止ガイドライン (第七版)」: <https://www.zensin.or.jp/>
- 12) 和辻直: COVID-19 感染拡大における鍼灸の現状: 日本統合医療学会誌 13 巻2号 82-89 2020
- 13) 全日本鍼灸学会 HP: COVID-19 に関する鍼灸論文の紹介 2021年度版 (2021年7月): <https://jsam.jp/important/covid-19-20210730/>
- 14) 日本東洋医学会 HP (運営委員会特別ワーキンググループ): 「COVID-19 関連症状に対する日本東洋医学会主導臨床研究のご紹介」 <https://www.jsom.or.jp/medical/covid/>
- 15) 小松大介: コロナ禍の診療所経営 (患者数減少にどう対応するか): 日本医事新報 (5068): 18-33, 2021

コロナ禍における鍼灸院・マッサージ院

新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから2年が経過。政府による緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発令と共に、感染者数増加の報道が過熱し、多くの国民が外出を自粛、鍼灸院・マッサージ院においても全国的に大きな影響を受けた。業界内部でも新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを発出し、全国の鍼灸マッサージ師に対して注意喚起がなされているが、コロナの影響や現状の取り組みなどについて鍼灸院を取材。訪問マッサージについては、患者・家族の理解を得て、在宅ケアの現場にて取材協力をいただいた。

感染症対策は
どのようにしていますか？

どの事業所でも行われていると思いますが、当院でも来院時の検温、手指消毒を行っていたと思います。施術者・患者共に不織布マスクを着用し、接触時間が長いケースはフェイスシールドを装着して施術にあたるようにしています。枕カバーは使い捨てペーパーを使用し施術毎にベッドの消毒を徹底しています。スタッフの出勤時には、検温のほか、味覚・嗅覚の異常や呼吸器症状の有無を確認。休憩時間の昼食では、スタッフ間の距離をとって食事をとるようにしています。感染拡大時は、プライベートでも職員の会食禁止などの徹底を行うなど、大阪府や医療法人寿山会の感染対策に基づいた行動をとるようにしています。

来院患者に変化は？

新型コロナウイルス感染拡大の当初は、外来患者数の減少が見られました。現在（令和4年1月）では以前の状態に戻りつつあります。当院では昨年度、外出自粛要請等の影響により2019年度より約10%程度の患者減が見られました。在宅介護分野では、感染への不安からデイサービス等の利用の自粛により、要介護者の運動機能レベルが更に悪化する傾向がありました。そのため慢性の痛みや関節拘縮・筋萎縮等へのケアのニーズの高まりから、在宅高齢者ケアの鍼灸マッサージの需要が増えている印象で、経営への影響は最小限に収まりました。本年度は少しずつ外来患者数の回復が見られており、12月時点で昨年度の外来患者数を超えるようになりました。

医療法人グループならではの
特徴はありますか？

当院は医療法人グループの傘下であり、電子カルテで情報が共有されており、法人グループ内の医師から紹介いただいた患者に関しては、現病歴や検査、治療内容について情報を確認することができず。一般的な施術所にはない環境であり、施術を行う上で貴重な情報元です。法人グループ内の医師とも連携がしやすい環境になっています。



東大阪市内にある
キラリ鍼灸・マッサージ院



主任鍼灸師 高橋 護さん



来院時の手指消毒と体温計測



医療法人寿山会喜馬病院
近隣にはグループ法人の介護施設等が隣接し、
地域包括ケアを担っている



スタッフは10名。
清潔感のある施術室で施術毎に
ベッドを消毒し、フェイスシートを交換

どのような疾患の方が多いですか？

一般的には、腰痛や肩の痛みなどの運動器症状が多いですが、鍼灸特有のさまざまな不定愁訴で悩まれる方が来られます。また当院ではジストニアに対する施術を専門的に取り組んでいる施術所が別棟にあります。2つの施術所あわせてスタッフ10名で対応しています。

ジストニアに対する施術とは、どのような相談が多いですか？

ジストニアは持続性の不随運動が生じたり、異常な筋緊張が生じてしまう病気で、現在基本的な治療はボツリヌス治療や内服治



グループ病院と同様に鍼灸院も電子カルテ化

療、手術などが行われています。

ボツリヌス治療は劇薬で一度治療を受けると3カ月経過観察になります。経過良好の方は良いのですが、なかなか効果が得られない場合に鍼灸を補助療法として希望される場合があります。また、内服治療については副作用が強いというので、できるだけ薬の量を減らしたいとの希望から相談を受けることがあります。

元々、関西医療大学でジストニア患者に対する鍼灸の研究が行われており、当院は協力している関連施設として紹介で来院される方が徐々に増加し、現在は直接来院される方も多数おられます。大変難しい症状ですが、少しでも症状が緩和できればと期待して相談に来られる方が多い状況です。



鍼灸業界に対して

感じていることはありますか？

「大学院での研究活動を経て、地域で臨床を行うようになって感じることは、医療関係者の中であまり鍼灸が理解されていないのではないかとことです。活用される場が広がるよう、鍼灸の価値を高めたいと思うようになりました。法人グループ内の医師とは常に連携が取れています。外部の医師からの評価はまだ厳しいものがあります。それを解消していくには、①リハビリのみで上手いかなないケースでも鍼灸を加えることで相乗効果が得られること②研究を通して鍼灸にはどのような効果があるかを説明していくことが必要であり、鍼灸師が医師に伝え



運動療法を行うスペースも完備しており、鍼灸師のスタッフが運動指導を行っている

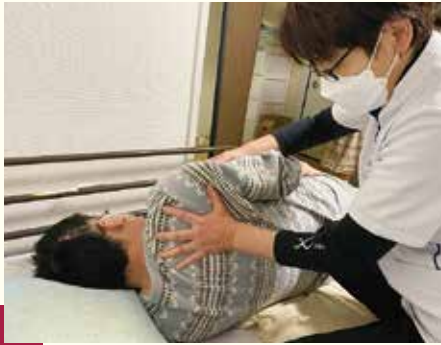
ていくこと、医師に鍼灸の効果を理解してもらうことが重要と考えています。そして、医療チームの一員として認めてもらえるようになることが理想ですね。」と語られた。

「また、一般の方にも、鍼灸のことをもっと知ってもらい、鍼灸治療を受けていただき、その効果の実感が患者さま経由で医師に伝わっていくのも、理想の実現につながる近道ではと考えています。そのためにも、鍼灸マッサーシ師会の活動にも期待しています。」と、一般府民に対する業界の普及活動の重要性を語られた。

在宅ケアの現場では――

平穏な暮らしが一変、重度介護に

4年前の仕事中に、くも膜下出血で倒れた40代のAさん。救急搬送され入院したものの、病状が安定せず4カ月後に手術。約半年後から1日3時間のリハビリを開始



鍼灸マッサージ師の小牧美奈子さん(千寿治療院)

したが、9カ月後に寝たきりのまま退院を余儀なくされました。働き盛りだった夫が急に要介護となったことで、妻のBさんは、子育てと介護の両立へ大きな不安を抱えながら、入院中のカンファレンスで在宅介護について相談。ケアマネジャーとの打ち合わせで、定期的な医師の訪問診療と訪問看護、訪問入浴、訪問介護、そして何より少しでも自分で動けるようになってほしいとの思いから、介護保険外サービスとしての訪問マッサージをケアプランに盛り込んでもらいました。



股関節が外旋屈曲位で拘縮。脊柱や上肢も拘縮が進んでおり、自力で寝返りが出来ない状況

入院中は毎日のリハビリで徐々に回復してきたにもかかわらず、環境が異なる自宅や介護施設で悪化してしまうことが多くあります。自分で寝返りができないと褥瘡のリスクが高まり、Aさんも退院してしばらくは皮膚の発赤がみられたようです。

「クッション等を使いながら定期的に体位変換を行うようにしていますが、自分でお尻を浮かしたり柵をもったりして寝返りできるように became、今は発赤もな

自分で動ける身体に変化



関節拘縮を緩和する手技(変形徒手矯正術)は、筋の柔軟性を高めながら関節内環境を改善し可動域を拡大に導く

くなり、以前と比べて介護がしやすくなりました。最初は声掛けに反応が少なかったのですが、子供から、『私が話しかけても返事しないのに、お母さんが話しかけたら返事するよ』と言われ、日頃の介護で少し明るい兆しを感じています。」とBさん。

新型コロナウイルス感染症にも注意して生活しており、基礎疾患のある夫の部屋にウイルスを持ち込まないよう、自宅でもマスクを着用し、消毒やペーパータオルの使用。「子供は、どうしてもパパの傍で話しかけたがるのですが、今はやむを得ず近づけないようにし、必要最小限の接触にしています」とコロナ禍での在宅介護の難しさも語っておられた。



介助付きでベッドサイドで立位保持し車いすへ健側の右足を使って居室内を車いすで2往復されるなど、Aさんの地道な努力の成果を見せていただいた

「新型コロナウイルス感染症を危惧し、デイサービスの利用を控える方が増加し、運動機能が低下する方が多くなっています」と話すのは、Aさんの担当ケアマネジャーの野村栄一さん。介護施設でも、殆ど家族の面会が禁止となり、ケアマネジャー自身も利用者とは面会できず、施設関係者とのみ話をして状況を確認するケースもあります。そんな中でも「A



ケアマネジャー 野村栄一さん

コロナで難しくなった 対面での活動

転倒・骨折を繰り返し 歩行困難に

さんは、訪問マッサージを活用し退院当初と比べてずいぶんよくなられました。腕は私よりも挙がるようになってますね(笑)」と。「訪問マッサージのニーズがある場合、通常、医師も利用者さまの状況を理解されていますので、直接医師とお話しすることもありますが、本人や家族が希望して医師に相談する場合などケースバイケースです。鍼灸マッサージ師の方からも、経過報告書を送っていたいただき、利用者様の連絡帳に支援内容を記載いただくなど、日頃から連携ができていますので、非常に助かっています。」

腎不全で透析通院を行っている80代のYさんも週に3回訪問マッサージを受けている。長年人工透析で通院する生活が続いており下肢筋力も低下。転倒を繰り返し手首や肋骨、腰椎の圧迫骨折に伴う痛みのためさらに活動が制限され四肢体幹の筋肉が萎縮。風邪をこじらせ入院したことで、ほぼ寝たきり状態に。

関節拘縮を起こしている筋を全体的にリラックスさせるよう徒手矯正術を行いながらマッサージを加え、徐々にねじれを伴う体幹や

四肢の可動域制限を緩和しつつ、ゼロポジションへ。ベッドから起き上がりつてもらうようYさんに声掛けすると床にしっかりと足をつけ、左右バランスよく骨盤に体重をかけて安定して坐位がとれるようになり、また立ち上がりも軽い介助で可能となった。

同じく15年前から人工透析を受けている70代のNさんも、6カ月前に自宅で転倒してから立ち上がれなくなった。転倒する以前は介助を受けて歩行が可能であったが、その後は全く動けない状態が続き、訪問マッサージ導入の当初は、座位保持も不可能で、リクライニング式の車いすですで透析に通院していた。「最初は全く動くことが出来ず大変でしたが、今は少しずつ筋力が回復されて、ご家族の移乗介護が楽になっていますね」と担当ケアマネジャーの森田香さんは笑顔で話す。

新型コロナウイルス感染症が国内で流行し2年が経過しているが、「以前の新規依頼ベースと比べると、現在は感染力の強いオミクロン株の影響により、退院が決まったとしても、接触機会をできるだけ減らすために、少し様子を見てからと保留のケースもみられます。」と話すのは鍼灸マッサージ師小牧美奈子さん。施術所の感染対策としては、感染防止ガイドラインに示されているとおり、本人の体温や体調と共に、家族の状況も確認、日常生活での外出自粛、また出来るだけ施術中も対面での接触時間を減らすように心がけているとのこと。

自分の可能性は 大きく生活の質の向上に

「寝たきりの患者にマッサージは必要ないとおっしゃる医師もおられるようですが、誤解されていると思います。医療マッサージで血流を促進することで軟部組織の環境が改善され、徒手矯正術で関節拘縮を緩和することにより、痛みが緩和され、オムツ交換や衣服の着脱の際の苦痛を和らげること



ケアマネジャー 森田 香さん（中央）と
あん摩マッサージ指圧師 山田まりさん（左）



ができますし、介護もしやすくなります。また、寝返りが出来るだけでも、褥瘡予防や家族の介護負担軽減にもつながります。些細なことと思われる方がいらっしやるかもしれないですが、患者のQOLが変わっていくのを日々の当たり前にしています。

コロナ禍で、医療や介護関係者がエッセンシャルワーカーとして重要であることが再認識されていますが、直接生命に関わらないとされる鍼灸マッサージやリハビリ分野においても、生活に必要なとされている方がたくさんおられます。ケアマネジャーの方々には、介護保険や行政サービスだけでなく、インフォーマルサービスの中に、医師の同意のもと健康保険(療養費)で利用することができる鍼灸マッサージ施術があることをぜひ広く知っていただきたいです。と長年の経験から得た自信と強い思いを語られた。

元々、社会体育分野で運動指導をしていた小牧さんは、高齢者の方々が途中で足を痛めたりすると運動から遠ざかっていくことを経験し、また母親が大けがを負った際に鍼灸を受療されていたのをきっかけにこの業界に飛び込んで

学び、国家資格を取得したのと。と。

これから鍼灸マッサージ師を目指す方に対して、「この資格は、自分の手で直接施術を行う貴重な国家資格であり、重要な役割を担っていることを認識し、しっかりと学んで多くの人々の健康のお役に立てるよう取り組んでいただきたいです。特に在宅ケアは、多職種との連携を行っており、努力すれば多くの方から評価されます。ぜひ諦めずに頑張ってください。」と学生向けにもメッセージを送られた。



コロナ禍で人との接触を避けることが常態化している中でも、多くの患者さまが不定愁訴を抱えて鍼灸院を訪ねており、在宅現場では、生活の質を上げるために施術を必要としている方が数多くおられます。心からだの画面からケアすることが出来る東洋療法が、今後多くの府民の健康に役立てられることを願います。

足三里 (あしさんり) を 刺激して免疫力アップ!

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が広がり始めた中国国内では、国の威信をかけて COVID-19 の治療・予防に鍼灸を含む中医学医療の活用を推進。

日本とは医療制度が異なり、鍼灸は医師や中醫師が保険適用で行っており、入院患者の症状改善のほか、退院後のリハビリや予防への活用も複数のガイドラインで推奨していると、社会鍼灸学研究会 (2020 年) で報告されています。

日本国内では、鍼灸師がそれぞれの施術所で、疾病に対する施術以外にも健康保持や予防を目的とした鍼灸が取り組まれており、小野らの調査*によると、鍼灸師が COVID-19 に対する予防的効果を期待し、効果があると考えたツボ (経穴) のうち、最も多かったのは「**足三里 (あしさんり)**」と報告されています。

足三里は、足の陽明胃経という経絡に属するツボの一つで、胃腸の働きを整えるといわれています。

人の免疫細胞は腸に 7 割が存在すると言われており、食べ物だけではなく、病原菌やウイルスなどが常に入り込んでくる腸は、栄養や水分を吸収する腸壁のすぐ内側に、免疫細胞が密集し外敵に備えています。腸内の免疫細胞が活性化していると、免疫力が高く病気になるにくい状態になります。腸内環境を整えるため、食生活や運動はもちろんのこと、足三里へのツボ刺激を加え、免疫力アップに役立ててはいかがでしょうか。



ひざを曲げたときに
膝のお皿の外側にできる
くぼんだところから指4本分下

* 小野直哉：COVID-19 による日本鍼灸界への影響に係る実態調査 日本の鍼灸師に対する「COVID-19 に関するアンケート調査」の報告：社会鍼灸学研究 特集号 1-18 2021

◆生涯研修会◆
令和4年7月の予定

■日時 令和4年7月10日(日)

■第1講座 12:30～14:00 (2単位)

鍼灸院・マッサージ院のための
心に寄り添う話し方研修 ①

■第2講座 14:10～15:40 (2単位)

鍼灸院・マッサージ院のための
心に寄り添う話し方研修 ②

SoLairo代表、ラジオパーソナリティ
石山空来さん

◆生涯研修会◆
令和4年8月の予定

■日時 令和4年8月28日(日)

■第1講座 12:30～14:00 (2単位)

「医師と鍼灸マッサージ師の連携
～医はき師の視点から～」

医療法人 弘池会 口之津病院 総合診療科
医師・はり師・きゅう師 寺澤佳洋さん

■第2講座 14:10～15:40 (2単位)

「胃腸障害 (IBS、便秘) に対する鍼灸」

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部
鍼灸健康学科 準備室長 教授 粕谷大智さん

■会場 大阪府鍼灸マッサージ会館3階大ホール (会場・オンライン)

申込みサイト

■受講料 一日 会員 1,000円・学生無料
(資料代含む) 一般 2,000円

※ 本研修会は公益研修事業で、(公財) 東洋療法研修試験財団の単位認定研修です。

■お問合せ 大阪府鍼灸マッサージ師会事務局 TEL 06-6624-3331

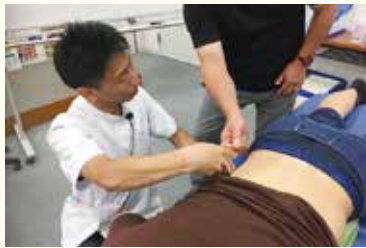


大阪府東洋療法協同組合

大阪府鍼灸マッサージ師会会員の研修・経営をサポート

● 鍼灸マッサージ師の専門領域セミナー

● 使いやすい無料レセプトシステム



トリガーポイント鍼療法、周産期ケア講座等、各種専門領域セミナーの開催



PC、タブレット端末、スマホでも入力OK



- 制度改正に素早く対応 クラウド型レセプトシステム
- ホームページ・名刺作成
- 医療衛生材料の共同購買
- 組合員の福利厚生

〒545-0011
大阪市阿倍野区昭和町2丁目10番5号
大阪府鍼灸マッサージ会館2F

TEL 06-6624-3332
URL <https://otrk.osaka.jp>



発行日 2022年4月1日 発行人 廣野敏明 編集・発行所 公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会総務部

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 (大阪府鍼灸マッサージ会館) TEL 06-6624-3331 FAX 06-6624-5141